

## 令和2年度 奈良 ESD 連続セミナー開催要項

### 1. 目的

学習指導要領が改訂され、前文や総則に「持続可能な社会の創り手」の育成が明記された新学習指導要領が、幼稚園では2018年度より、小学校は2020年度、中学校は2021年度から全面实施、高等学校では2022年度より年次進行で実施される。新学習指導要領が求める教育を実施するためには、教育内容の捉え方の見直しや教育方法の改善が必須であり、ESDを適切に指導する資質能力の育成が、教員養成及び現職教員研修にとって喫緊の課題であることは間違いない。そこでESDの指導者として求められる資質能力を育成することを目的に、本連続セミナーを開催する。

### 2. 開催日時 時間はいずれも19時～21時

- ①6月10日(水)・②6月25日(木)：SDGsの理解促進
- ③7月27日(月)：ESDの理論研修 ④8月7日(金)：優良実践事例の検討
- ⑤8月31日(月)・⑥9月24日(木)：授業構想案の相互検討
- ⑦10月29日(木)・⑧11月26日(木)：学習指導案の相互検討
- ⑨1月07日(木)・⑩1月21日(木)：学習指導案の最終確認
- ⑪2月12日(金)：研修の振り返り

### 3. 会場・方法 次世代教員養成センター2号館 多目的ホール ※当面はZoomを用いたオンラインで実施

### 4. 研修内容

- (1) 持続可能な開発目標(SDGs)の内容理解
- (2) ESDの学習理論
- (3) 優良実践事例の分析
- (4) ESD授業構想とESD学習指導案・実践報告の作成
- (5) ESD学習指導案・実践報告の相互検討

### 5. ESDティーチャープログラム(現職教員向け)との関連

- (1) ESDティーチャーコース
  - ①ESD連続セミナーへの5回以上の参加と毎回のミニレポートの作成
  - ②ESD教材開発とESD学習指導案の作成、1月末日までに提出
- (2) ESDマスターコース
  - ①ESD連続セミナーへの7回以上の参加と毎回のミニレポートの作成
  - ②ESD教材開発とESD学習指導案の作成、そして授業実践をふまえた実践事例を作成(6P程度)し、1月末までに提出(考察をしっかりと記載すること)。
  - ③ESDティーチャー研修中の現職教員および学生の指導案作成指導
- (4) ESDスペシャリストコース
  - ①ESD連続セミナーへの7回以上の参加と毎回のミニレポートの作成
  - ②ESD教材開発とESD学習指導案の作成、そして授業実践をふまえた実践事例を作成(6P程度)し、1月末までに提出(考察をしっかりと記載すること)。
  - ③ESDティーチャー研修中の現職教員および学生の指導案作成指導
  - ④学会や研究大会での実践事例の発表か、ESD研修会の開催と報告書の提出

※3月末に学長より ESD ティーチャー、ESD マスター、ESD スペシャリストの認定証が授与されます。

※作成された学習指導案や実践事例は近畿 ESD コンソーシアムの HP に掲載します。

※発表のための研究大会参加旅費は、コンソーシアムが負担します。

#### 【手続き】

①研究大会参加旅行計画を中澤までメールで提出

A4 で 1 枚 研究大会の名称、主催者、開催日時・場所 旅程（交通手段）・宿泊先（名前・住所）その他に発表内容（大会主催者に送付した資料）

※交通手段は公共交通機関です。船、飛行機、レンタカーを使用する場合は相談してください。

②報告書の作成

大会で配付される研究大会冊子の表紙のコピー

報告資料（当日配布したもの・パワーポイントを印刷したもの等）

#### 6. ESD に関する研修会（ESD ティーチャープログラムにカウントできます）

それぞれ5回実施します。開催日については、別紙参照。

◇授業づくりセミナー

①川上村森と水の源流館「水の恵み」授業づくりセミナー

②春日山原始林授業づくりセミナー

③県立万葉文化館「万葉集」授業づくりセミナー

#### 7. 実践発表・先進地視察について

①ESD 実践交流会

全国のユネスコスクールに参加を呼び掛け、実践交流会を開催します。（12月26・27日：本学）

②日本 ESD 学会研究大会（9月19・20日（成蹊大学）及び近畿方研究会（7月25日（本学））などの地方大会：日本 ESD 学会の会員だけが、発表できます。参加だけなら誰でも可。

③ユネスコスクール全国大会：

④世界遺産学習全国サミット：

⑤八名川小学校 ESD パワーアップ交流会（東京都江東区立八名川小学校）：

⑥ESD 活動支援センター ESD フォーラム：

⑦近畿 ESD フォーラム：

※ その他、相談に応じます。